

セルフモニタリング報告書(令和4年度分)

令和5年4月28日

施設名 苦小牧市公設地方卸売市場青果部

指定管理者名 丸一苦小牧中央青果株式会社

所管課名 農業水産振興課

モニタリング項目	指定管理者 コメント	自己評価
1 事業計画の達成度		
事業計画の内容に従い、適切に施設の管理運営が行われたか。	指定管理施設として、重大なトラブルを発生させる事なく、事業計画に基づきながら運営する事が出来ました。新型コロナの感染防止対策は継続して、利用者へ対応しています。	A・ (B) ・C・D・E
施設利用者数の増加、利用率の上昇、利用者利便性の向上などの目標は達成されたか。	—————	A・B・C・D・E
施設の設置目的にあった成果は上がっているか(目標値を設定していないその他の施設)。	施設利用者や関係団体の協力を頂きながら、市民への安全・安心な青果物の供給を担う施設としての役割を果たし、また施設や食についての周知PRに関する事業が出来ました。	A・ (B) ・C・D・E
自主事業は計画どおり行われたか。	新型コロナの感染防止の観点を最優先にし、事業規模としては控えめとなったが、市場感謝祭をはじめ、市場開放や職場見学会の開催など、市場PRの一環として事業に取り組む事が出来ました。	A・ (B) ・C・D・E
地域、関係機関、ボランティア等との協働・連携に向けた取組が行われているか。	市場用地を使用してのイベントを実施できるよう隣接施設と連携したり、市場感謝祭で協働するなどの取り組み方をしてきたので、色々な団体と今後も繋がりを大事にしたい。	A・ (B) ・C・D・E
2. 利用者の満足度		
利用者の満足が得られているか。	年1回のアンケート調査を実施し、関係団体の利用者から意見を頂く機会があり、利用満足度をもっと高める必要性があります。	A・ (B) ・C・D・E
利用者の意見・要望の把握は適切に行われているか。	意見や要望、苦情などはアンケートや直接の対話の中で把握している状況なので、多くの人から意見を頂ける機会や環境づくりも今後必要になってきます。	(A) ・B・C・D・E
利用者の意見・要望・苦情への対応は十分行われたか。	指定管理者として必要な修繕や対応など、その都度おこなっていますが、今後も適切な対応ができるようにします。	A・ (B) ・C・D・E

3 管理運営の効率性		
経費の低減が図られているか。またその取組は十分か。	光熱費の経費削減を取組の課題とする中、燃料費の高騰による経費負担が大きくなっているが、場内照明や冷蔵施設の扉開閉など可能な限りで節減に取り組んでいます。	A (B) C・D・E
一部業務の再委託に要している経費は、適切な水準か。また、経費が最小となるような取組はされているか。	業務委託をする業者の選定は、地元企業や信頼の出来る業者ということを前提にしながら、その中で複数業者と協議し経費との兼合いを考慮して委託先を決定しています。	A (B) C・D・E
収入増加のための取組はされているか。	_____	A・B・C・D・E
4 適正な管理運営		
人員配置及び職員の管理体制は適正か。	指定管理職員の役割分担を明確にし、運営管理に支障のない人員配置をしていますが、更に職員間の情報共有を強化します。	A (B) C・D・E
職員の能力向上に向けた取組は行われたか（研修等）。	外部講習の参加は、新型コロナの影響を鑑み見送ってきましたが、自前での修繕機会を増やし、業者に指南を受ける対応をしました。	A (B) C・D・E
施設の平等な利用等について、適切に処理されているか（使用料の減免、還付含む）。	市場法や規則に基づき、適切な処理を行っています。	(A) B・C・D・E
利用者の個人情報等について適正に管理が行われていたか。	業務上で取扱う情報や書類に関して、個人情報保護を遵守し、社外へ持ち出すなどの行為はせず、適切に管理しています。	(A) B・C・D・E
収支の状況に不適切な点はないか。会計処理は適正か。	収支について適正に処理し、二重に確認を行っています。	(A) B・C・D・E
施設・設備等の法定点検及び保守は、適正に行われているか。	法定点検については電気や消防など、必要項目は全て実施し、定期的な保守を委託している他、年1回の独自点検や冷却設備の点検を毎日実施記録するなど適正に行っています。	(A) B・C・D・E
書類・備品等の管理は適正に行われているか。	書類は項目ごとにファイル保存しており、備品は保管場所にまとめて管理しています。	A (B) C・D・E
安全対策（事故防止等）は十分だったか。	施設を利用するにあたり事故やトラブルが起きないように、施設点検や不備の対処、駐車場についても配慮しています。	A (B) C・D・E
法令・協定書等を遵守し、適正管理が行われているか。	市場法や協定書を遵守し、それに基づいて適正な運営および管理をしています。	(A) B・C・D・E

5 地域貢献		
雇用・資材調達・再委託等、地域貢献に努めているか。	委託業者の選定や、資材備品の調達を行う場合に、苫小牧市内の業者や施設を利用し、地域の繋がりを重要視しています。	A・ B ・C・D・E

- A: 目標、事業計画を上回る取組がされており、管理運営状況は極めて良好である。
- B: 目標、事業計画どおり又はそれ以上の取組がされており、管理運営状況は良好である。
- C: 概ね目標、事業計画どおり行われおり、管理運営も適正で、特段問題は見られない。
- D: 目標、事業計画において一部未達成があるなど計画内容を下回っており、又は管理運営において一部不適正な部分があるなど、改善が必要と認められる点がある。
- E: 目標、事業計画の内容を大幅に下回っており、かなりの部分において改善が必要である。

自己評価 ★★★★★

(最大評価を★5つとし、5段階評価で星を塗りつぶしてください。)

指定管理者の自己評価(全体を通して)

令和4年度の施設運営管理において、公設地方卸売市場としての役割を適性に果たせるよう、事業計画に基づき取り組みました。市民へ安全に青果物を安定供給する施設として機能すべく、施設環境の維持と情報発信の機会を増やす事を重点課題とし、地域への貢献活動もコロナの状況に好転が見え始め取り組みましたと思います。また、施設や利用者の中で大きな事故やトラブルが起きることなく運営出来ました。

公設地方卸売市場という施設柄、普段は一般市民との接触機会が少ないのですが、市場感謝祭や職場見学受入れなどの各事業を展開し市場機能のPRに繋がる活動が出来たので、今後も継続して取り組みます。また、隣接の施設等とのイベントにおける連携など、漁港区全体の観光活性に繋がるように課題などの改善点を考えながら進めています。

施設環境の面では、光熱水費の価格高騰や設備の老朽化などの対応に難しさがありました。その中で経費を可能な限り抑えられるよう、施設利用者の協力も得ながら節電に取り組む等の必要性がありました。老朽化が要因となる設備故障や不具合が目立ちますが、必要となる修繕は速やかに対応し利用者の満足度が高い施設づくりを目指しています。

最近では新規の出荷者や、購入に関する問い合わせも増えてきており、当施設の認知や食に対する関心が高まっていますので、管理の行き届いた活気ある施設として運営できるように取り組んでいきます。